
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
令和 7 年 6 月 1 3 日

鹿児島湾 赤潮情報 No.4

[1] 6月13日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡でシャットネラ マリーナを確認(St.①, ④, ⑤, ⑨)しました。
濃縮検鏡でシャットネラ属を確認(St.③)しました。
珧藻類は St.① でやや少なく、その他は少ない状況でした。

(2) 海 況

平年値と比べ表層水温はやや高く、湾奥部で24.0~25.2℃、湾中央部で24.5~24.8℃。塩分は低く、21.4~28.7。透明度はやや低く、3.0~9.5mとなっています。

水 温：平均 24.7℃ 湾奥部 24.8℃ 湾中央部 24.6℃
塩 分：平均 24.8 湾奥部 23.7 湾中央部 28.3
透明度：平均 5.2 m 湾奥部 4.2 m 湾中央部 8.1 m

(平年値は平成元年~令和6年6月上旬の平均値)

【鹿児島県水産技術開発センター調査】

鹿児島湾赤潮調査結果
調 査 日：2025.6.13 (金) 中潮
天 候：曇り
調査時間：7:16 ~ 11:23

- ・通常検鏡でシャットネラ マリーナを確認(St.①, ④, ⑤, ⑨)
- ・濃縮検鏡でシャットネラ属を確認(St.③)
- ・珧藻類はSt.①でやや少ない、その他は少ない。

※は表層海水を濃縮検鏡(1000倍)した調査定点



[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査で、通常検鏡により有害種が確認されました。今後、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っており、有害種が増殖する可能性がありますので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。

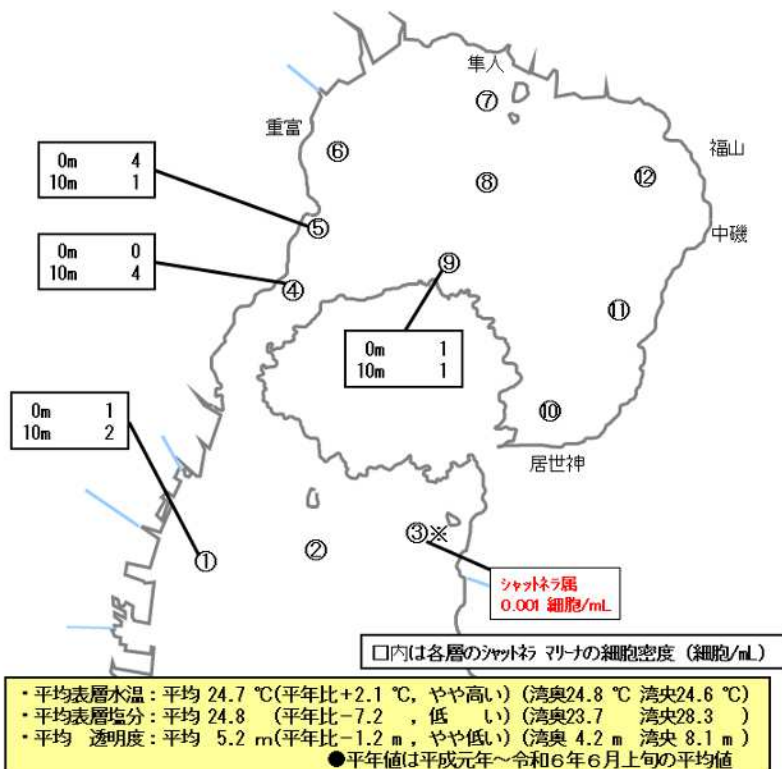
※シャットネラ マリーナの特徴

- ・適水温 23~26℃
- ・適塩分 30 以下
- ・魚毒性が強く、致死細胞密度はブリ及びカンパチで、約 2,000 細胞/mL

(次回調査は6月下旬を予定)

赤潮情報(携 帯 用) : <http://kago-shima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン 用) : <http://kago-shima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>



鹿児島県水産技術開発センター

